

令和2年調査結果の概要

● 出生数は減少

出生数は38,966人で前年より788人減少し、人口千対の率は7.7（前年7.9）であった。

合計特殊出生率は1.41で、前年の1.44を0.03下回った。

● 死亡数は減少

死亡数は53,273人で、前年より826人減少し、死亡率（人口千対）は10.5（前年10.7）であった。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は老衰、4位は脳血管疾患であった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物29.4%、心疾患12.1%、老衰6.8%で、以下脳血管疾患6.7%、肺炎6.2%と続いている。

● 自然増減数は減少

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-14,307人で、前年の-14,345人より38人減少し、自然増減率は-2.8と、前年に続きマイナスとなった。

● 死産数は減少

死産数は820胎で、前年の911胎より91胎減少し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は20.6で、前年の22.4を1.8下回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は22,745件で、前年の25,777件より3032件減少し、婚姻率（人口千対）は4.5で、前年の5.1を0.6下回った。

● 離婚件数は減少

離婚件数は8,955件で、前年の9,774件より819件減少し、離婚率は1.77で、前年の1.94を0.17下回った。